

## 韓国研修報告 ～韓国の大学・薬学部について～

神谷 侑未

3年 14A053

### はじめに

2016年8月17日～8月20日の4日間、海外研修として韓国へ行ってきました。本学から3年生4名、4年生2名、5年生5名が参加しました。現地では東国大学の寮に宿泊し、日本と韓国の医療の違いを学ぶとともに、東国大学薬学部の学生との交流を深めました。

### 東国大学について

東国大学にて東国大学は1906年に開設された、“自由と正義”がスローガンの仏教系大学で、本学がソウルにあります。ソウルの真ん中に位置するので、交通の便がとても良いです。

“同感”という学生広報チームに大学案内をしてもらいました。大学内に座禅などができるお堂があり、ソウルキャンパスはソウル市内で3番目の広さを誇ります。少女時代のユナなどの有名人の出身校でもあります。

東国大学薬学部キャンパス・バイオメディカルキャンパスにて東国大学の薬学部はゴヤンキャンパスにあります。とても広い敷地で、我々のキャンパスの3倍以上あ

るのではないかと印象を受けました。自習スペースも多く、緑に囲まれたとても素敵なキャンパスでした。

### 韓国の薬学部について

韓国の薬学部は2年+4年の6年間であり、日本と年数は同じですが、その入学方式は異なっていました。まず初めの2年で数学、物理、化学、生物をどこかの別の大学で学び、P.E.E.T(Pharmacy entrance exam)というテストを受けることで、はじめて薬学部に入学することができます。韓国の薬学部生の中には、教育学部や建築学部に通っていたという人もいました。

また、一学年36名と人数が少ないためか、学生同士の仲がとても良かったです。私自身の学年は100名を超えるため自分の学年全員と話したことはありませんが、もしこのように一学年が少人数ならば、全員と話ことができ、より個人個人と深く関わっていくことができ、よい人間関係を築くことができるのではないかと感じました。また、こちらの大学には留年という制度がないらしく、毎回のテストに悩む私としてはとても羨ましく思えました。



ランチミーティングの時は、韓国語がわからないのでうまくコミュニケーションがとれるか少し不安でしたが、韓国の学生さんが、こちらがわかりやすいように、英語や日本語で積極的に話題を提供してくれたり、韓国語を教えてくれたりしたので、言語の壁を感じることなく楽しい時間を過ごすことができました。特に日本のアニメの話で盛り上がり、そういう面では韓国の学生も日本の学生も同じだと感じました。

今回の交流は、英語だけでなく韓国語も勉強しようと思えるキッカケになりました。

薬学部のキャンパスから大学病院までは徒歩5分程と非常に近く、病院内やその門前薬局で実習を行っている学生がいました。

自分の大学の目の前に病院があるというのは、自分自身が薬剤師としてどうなりたいかのより具体的な将来像をえがくヒントになり、とても良い環境だと思いました。

### 最後に

今回の研修で、韓国と日本の薬学部の在り方の違い、医療の違いを実際に見ることができ、大変貴重な経験になりました。3年生というまだ日本の医療についての知識すら少ないなかでこの研修を経験できたことは、自分が4年生、5年生になった時に、より深い理解を得ることができる糧になると思います。これからも韓国の学生さんとの交流を続け、楽しみながら多くのことを学んでいきたいです。

